



森と海の自然科 活動案内 「川と街道を訪ねて-No.21」

三谷山野草の里見学と大和川源流部散策<初瀬川> (記録)

- | | |
|---------|------------------------------|
| 1: 日 時 | 2019年5月30日(木) 午前10時～午後4時30分 |
| 2: 集合場所 | 近鉄大阪線・桜井駅 |
| 3: 活動場所 | 奈良県桜井市三谷地区・山野草の里、大和川(初瀬川)源流部 |
| 4: 解散場所 | 近鉄大阪線・桜井駅 |
| 5: 参加者 | 23名 |

当日は天候にも恵まれた自然観察会でした。事前に、「里山の山野草を守る会」木曜班の中垣さん・福岡さんが、バスの手配並びに当日の案内場所の選定、受け入れ準備も万全にして頂きました。森海科の福岡明子さん・福岡昭治さんも大変お世話になりました。福岡明子さんには野草観察時の記録をお願いし、写真の確認も福岡さんにしてもらいました。(福岡さん、有難うございました)

近鉄線桜井駅から15km離れた大和高原の中山間地、標高が400～500mの大和川源流地域の三谷。自然が豊かで、野草の種類が多さに驚きました。自生する山野草の希少植物の環境保全に努めながら、個々の山野草の生活史を調査記録しながら、活動を楽しんでおられる様子を垣間見させていただきました。

初瀬川(大和川)源流域の散策は、桜井市小夫周辺の緩やかな丘陵地の奥に樹林に囲まれた谷地田(谷地にある水気の多い湿田)を流れる溝のような川相で、森海科で5年前に観察したもっと北の福住に近い地点での源流部と重ねて考えると、『しみ出た雨水が谷地田を流れ、用水兼用で水路を形成し、小川になるのがこの地域の源流である。山中に源流があると思い込んでいたが、全てがそうではないと理解した。低い山に降った雨が溜池に、路面に降った雨も側溝に集まり、田圃の小川の水も集まり川となりやがて大河になることが分かった。』をあらためて思い起こした。



①初瀬川(大和川)源流域 ②大和川の源流発見?



谷地田内溜池部にしみ出す雨水の水路

源流発見! ①②パンショット

5年前の源流部訪問時の記念写真